施設長　 殿　　　　　　 　　　 　　　　　　　　　全病経学第70号

臨床検査技師長 殿　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成28年9月5日

全国病院経営管理学会

会　長　相澤　孝夫

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 臨床検査業務委員会

 委員長　伊藤　公一

謹啓　平素より、当学会の運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、これからの医療は病診連携、在宅医療、医療と介護といった医療環境の変化が注目されています。このような情勢のなか、臨床検査業務委員会では、法改正、診療報酬改定への対応、チーム医療への貢献などを踏まえ「**医療環境の動向に向けた検査室運営　～検査技師の地位を確立する～**」をテーマに、各施設の取り組みについてアンケート調査を企画いたしました。本アンケートの調査結果は、臨床検査室運営における基礎資料として**平成２９年２月４日（土）に開催予定の当委員会報告会にて発表させていただきます。**

お忙しいとは存じますが趣旨にご賛同の上、アンケート調査にご協力いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

謹白

※　回答は、９月２５日（日）までに同封のＦＡＸ送信票を添付してＦＡＸまたは郵送にて返信していただくか、全国病院経営管理学会ホームページよりインターネット回答して下さい。

ホームページアドレス：http://www.kanrigakkai.jp/

**Ⅰ：施設概要**

１　施設の分類

1. 一般病院Ⅰ（特定機能病院） ② 一般病院Ⅱ（地域医療支援病院） ③ 一般病院

④ 精神病院　⑤ 療養所（一般） ⑥ 療養所（結核）⑦ 診療所（有床）⑧ 診療所（無床） 　　　　　 ⑨ その他（ 　 　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

２　標榜科数

① 3未満　　② 3～5　　③ 6～10　　④ 11～20　　⑤ 21以上

３　救急体制

① 第一次救急機関　② 第二次救急機関　③ 第三次救急機関　④ 指定なし

４　許可病床数　　　　合計（　　　　　　）床

病棟区分

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ①一般 | ②療養 | ③回復リハ | ④精神 |
| 床 | 床 | 床 | 　床 |
| ⑤結核 | ⑥感染 | ⑦その他（　　　） | ⑧その他（　　　） |
| 床 | 床 | 床 | 床 |

**Ⅱ：臨床検査室　概要**

１　臨床検査室の職員数

＊自施設職員と派遣職員に分けてお答えください。

＊非常勤職員は週40時間を常勤1名と換算し、週20時間の場合は0.5人、

週10時間の場合は0.25人のように換算してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 常勤職員 | パート/非常勤 | 派遣(ﾌﾞﾗﾝﾁ等) | 合計 |
| 臨床検査技師 | 男人  | 男人  | 男　人  | 男　人  |
| 女人  | 女人  | 女　人  | 女　人  |
| その他（受付など） | 男人  | 男人  | 男　人  | 男　人  |
| 女人  | 女人  | 女　人  | 女　人  |

２　現在の臨床検査室の運営形態

1. 自主運営（機器リースや一部外注項目がある場合等も含む）
2. 自主運営 + 検査センター等ＦＭＳ
3. 自主運営 + 検査センターブランチ
4. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

３　常勤技師の平均年齢と平均在籍年数をご記入ください。

1. 平均年齢（　　　）才　（男　　　　才、女　　　　　才）
2. 在籍年数（　　　）年　（男　　　　年、女　　　　　年）

**Ⅲ： 医療環境の動向に向けた検査室運営**

**～検査技師の地位を確立する～**

1　人材育成について

1）職能要件書\*1やスキルマップ\*2、ラダー\*3の様なもの（以下職能要件書等）が整備されていますか。（複数回答可）

　　①等級（経験年数）毎　　②部門毎　　　③新人対象　　④管理職　　⑤なし

　　\*1　職能要件書とは、職能資格制度において、各等級に要求されている能力とその内容を具体的に定義したもの

　　\*2　スキルマップとは、１人１人、誰がどの業務を遂行する知識や技術などの能力を備えているかということが、ひと目で分かる一覧表

　　\*3　ラダ－とは、仕事を難易度や賃金に応じて複数の職階に細分化し、[それぞれ](https://kotobank.jp/word/%E3%81%9D%E3%82%8C%E3%81%9E%E3%82%8C-719545)の職務内容や必要な[スキル](https://kotobank.jp/word/%E3%82%B9%E3%82%AD%E3%83%AB-178800)を明確にし、下位職から上位職へ、はしごを昇るように着実に移行できるキャリア向上の道筋と、そのための[能力開発](https://kotobank.jp/word/%E8%83%BD%E5%8A%9B%E9%96%8B%E7%99%BA-112055)の機会を提供するしくみ

2）職能要件書等の用途にはどのような事がありますか。（複数回答可）

　①技術・能力評価　　②等級や昇格評価　　③管理職登用　　④業務貢献度

　⑤昇給・減給の判断材料　　⑥中途採用者評価

⑦その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

3）職能要件書等は誰が評価しますか。（複数回答可）

　①本人　　②部門責任者（リーダークラス）　　③管理職者（科長、主任等）

　④病院の第3者　　⑤その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

4）入職年数と職能要件書等に乖離がある場合の対応はどのようにしていますか。

　①職能要件に合致するまで通常教育を行う　　②通常教育とは別の方法で教育を行う

　③部署の配置変更を行う　　④教育を行わずできる業務のみ行う

　⑤その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

5）職能要件書等の見直しはされていますか。

　①半年毎　　②1年毎　　③3年毎　　④業務変更時　　⑤適宜　　⑥していない

　⑦その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

6）検査室として教育システムはありますか。

　①ある　　　②ない

7）6）の設問で「①ある」と回答された施設のみお答えください。

教育システムは誰を対象としたものですか。（複数回答可）

　①新人職員　　②入職後3年未満の職員　　③入職後3年を超える職員　　④管理職職員

　⑤中途採用職員　　⑥その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

8）教育システムは順調に稼働していますか。

　①順調である　　②順調ではない　　③どちらともいえない

9）8）の設問で「②順調ではない」「③どちらともいえない」と回答された施設のみお答えください。

どのような点が問題となりますか。

　①教育システムの内容　　②対象職員　　③教育指導者

④その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

10）教育システムの見直しはされていますか。

　①半年毎　　②1年毎　　③3年毎　　④適宜　　⑤していない

　⑥その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

11）人材育成について問題点があれば、具体的に内容をお書きください。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

12）指導方法を悩むような問題のある技師はいますか。

「①はい」の場合はその人数、性別、年齢（該当年齢に○）もご回答ください。

①はい　　　②いいえ

　　　　　　　人数（　　　人／検査室全技師　　　人中）

　　　　　　　その問題のある技師の性別

（男性　　　人）（20歳代　　30代　　40代　　50代　　60代以上）

（女性　　　人）（20歳代　　30代　　40代　　50代　　60代以上）

13）12）の設問で「①はい」と回答された施設のみお答えください。

問題がある技師の問題点はどのようなものですか。（複数回答可）

1.遅刻が多い　2.早退が多い　3.突発休が多い　4.居眠りをする　5.仕事がとても遅い

6.仕事の覚えが悪すぎる　7.業務が雑である　8.仕事を怠ける　9.勤務時間内なのに休憩が多い

10.タバコを吸いに行く回数が多い　11.仕事の選り好みをする　12.電話に出たがらない

13.他の職員と協力して仕事ができない　14.自分勝手な行動をする　15. 教えた通りにやらない

16.できないのに自己流で仕事をしてしまう　17.検査室内で決定した運営方法に従わない

18.上司の指示に従わない　19.協調性がない　20.コミュニケーションがとれない

21.威圧的な態度をとる　22.仕事を抱え込みすぎる　23.仕事を与えない

24.プライドが高すぎる　25.自分は仕事が出来ると思い込んでいる

26.仕事ができすぎて他の職員を見下す　27.他の技師に仕事を教えない　28.後輩の指導をしない

29.下の意見を吸い上げない　30.教育する立場であるが、教育方法に問題がある

31.向上心がない　32.勉強しない　33.内部の研修会へ参加しない

34.外部の研修会へ参加しない　35.人間関係（検査室内）のトラブルが多い

36.人間関係（検査室以外）のトラブルが多い　37.人間関係以外でトラブルをよく起こす

38.問題が起きた時に他人のせいにする　39.うっかりミスが多い　40.同じようなミスを繰り返す

41.集中力がすぐに切れる　42.周りが見えなくなる　43.感情が不安定でヒステリーを起こす

44.患者からのクレームが多い　45.性格がきつすぎる　46.無口すぎる　47.おしゃべりが多い

48.いつも友達言葉で会話をする　49.言葉づかいが悪い　50.思った事をすぐに口にしてしまう

51.表情が固すぎる　52.身だしなみのルールを守らない　53.身だしなみが悪すぎる

54.不潔である　55.化粧が派手すぎる　56.香水の匂いがきつい　57.体臭や口臭がひどい

58.いつも酒臭い　59.うつ病等の心の病がある　60.管理職であるが、管理業務を行わない

61.会議に出席しない　62.報･連･相(報告･連絡･相談)がない

63.その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

14）問題がある技師にはどのような対応をしていますか。12）の設問で「②いいえ」と回答された施設でも、以前に実施した対応があればご回答ください。（複数回答可）

　　　②、③、④では、具体的に内容もお書きください。

　　①適宜、面接などを行い指導した

　　②業務制限をした

　　（具体的内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　③担当業務を変更した

　　（具体的内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　④別の部署に移動した

　　（具体的内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　⑤自主退職

　　⑥解雇

　　⑦特に何もしていない

　　⑧その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

2　在宅・訪問診療への関わりについて

1）在宅・訪問診療に関する業務に検査室が関わっていますか。

　①既に関わっている

　②今は関わっていないが、今後は行う予定

　③関わっていない、今後も予定はない

2）１）の設問で「①既に関わっている」「②今後は行う予定」と回答された施設のみお答えください。

すでに行っている業務、もしくは行う予定の業務を教えてください。

　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

3）１）の設問で「①既に関わっている」「②今後は行う予定」と回答された施設のみお答えください。

その業務を始めたきっかけは何でしょうか？

①検査室から自発的に動いた

②病院からの指示

③昔から行っており、わからない

④その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

4）1）の設問で「①既に関わっている」と回答された施設のみご回答ください。担当スタッフの人員確保はどうされましたか。

①増員した　　（　　　　名）

②増員予定である　　（　　　　　名）

③増員しない

④その他

5）1）の設問で「①既に関わっている」と回答された施設のみご回答ください。

訪問診療に行った際の業務内容と実施したものはどのような報告方法を行っていますか。

　 　該当業務内容と報告方法に○を記入して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 電話 | 紙媒体 | 電子媒体 |
| 1. 心電図検査
 |  |  |  |
| 1. 超音波検査
 |  |  |  |
| 1. 検体採取
 |  |  |  |
| 1. 患者介助
 |  |  |  |
| 1. 血圧測定
 |  |  |  |
| 1. 採血
 |  |  |  |
| 1. POCT
 |  |  |  |
| 1. その他（　　　　）
 |  |  |  |

3　検体採取、嗅覚・味覚検査業務について

1）検体採取や嗅覚・味覚検査業務を検査室の業務として取り入れていますか。

　　①検査室の業務として既に取り入れている

　　②検査室の業務として取り入れる予定

　　③今後の検討課題としている

　　④現状では業務に取り入れない

　　⑤その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　2）1）の設問で「①既に取り入れている」と回答された施設のみお答えください。

実施している業務は何ですか。

　 ①鼻腔採取

ア)インフルエンザ用　　イ)細菌検査用　　ウ)その他(　　　　　　　　　　　 )

　 ②咽頭拭い

ア）インフルエンザ用　　イ）マイコプラズマ用　ウ）細菌検査用

エ)その他(　　　　　　 　　　　　)

③肛門採取

ア)ノロ用　　イ)細菌検査用　　ウ)その他(　　　　　　　　　　　　　　　　　)

④皮膚

ア)疥癬　　イ)白癬菌　　ウ)その他(　　　　　　　　　　　　　　 　)

⑤嗅覚検査

⑥味覚検査

⑦その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　）

3）1）の設問で「①既に取り入れている」と回答された施設のみお答下さい。（複数回答可）

①検査室の業務として以前から取り入れている

②検体採取の法改正があったので取り入れた

③診療報酬の改定があったので取り入れた

4）1）の設問で「①既に取り入れている」と回答された施設のみお答下さい。

検体採取を行うための専用の場所を設置していますか

①設置していない

②設置している

5）1）の設問で「①検査室の業務としてすでに開始している」と回答された施設のみお答ください。

①検体採取をやってよかった点は何ですか

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

②問題となった点は何ですか

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

4　国際標準検査管理加算について

1）ISO15189は取得していますか。

　　①はい　　　　②いいえ

以下の2）から5）の設問は1）の設問で「①はい」と回答された施設のみお答ください。

2） ISO取得については、病院主導(病院指示)でしたか、検査室主導(検査室提案)でしたか？

　①病院指示　　②検査室提案　　③その他(　　　　　　　　　　　)

3）2016年4月の診療報酬改定にて、国際標準検査管理加算が新設されましたが、この加算を算定していますか。

　　①算定している

　　②ISOの認定は取得しているので、これから算定する予定

　　③算定予定なし

　　④その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　4）算定後の審査料・維持費を含めた収益についてお答えください。

①増収した

②変わらなかった

③減収した

④わからない

5）ISO取得にあたり、苦労したことはありますか。該当する項目に対策を記入してください。

①費用の工面　　　　　（対策：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

②環境整備に関わる支出（対策：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

③スタッフの理解　　　（対策：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

④病院の理解　　　　　（対策：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

⑤文書整備　　　　　　（対策：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

⑥その他　　　　　　　( 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　）

5　災害時対応について

1）貴院は災害拠点病院ですか。

①はい　　　　②いいえ

2）病院全体としての災害時対応マニュアルはありますか。

①はい ②いいえ

3）検査室スタッフの災害時の役割が病院で決まっていますか。決まっていれば、その役割を教えてください。

①はい（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

②いいえ

4）災害時の検査室体制についてお答えください

　①検査室の災害時対応マニュアルはありますか。

　　　　平日日中　　　　　ア）はい　　　　イ）いいえ

夜間・休日　　　　ア）はい　　　　イ）いいえ

②技師の初期対応の役割は明確になっていますか。　ア）はい　　　　イ）いいえ

③各機器の対応は明確になっていますか。　　ア）はい　　　　イ）いいえ

④検査室に非常電源は確保されていますか。　ア）はい　　　　イ）いいえ

⑤貴院が災害初期段階で停電、断水のライフラインが止まるなど被災を負った時、検査室で稼働できる機器はありますか？

　　機器名とその機器を選んだ理由を教えてください

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　　機器名 | 選定理由　　 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

⑥ 院内には⑤で記入された稼働可能機器は周知していますか。また、どのようにして周知いたしましたか。

ア)周知している

　方法（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

イ)周知していない

 　⑦災害時に備え、職員への連絡方法は決めていますか。（複数回答可）

　 ア)電話による緊急連絡網

　 イ)一斉メール（メーリングリスト）の活用

　 ウ)各種SNS

　 エ)LINE

　 オ)災害用伝言ダイヤルの活用

　 カ)決めていない

　 　キ)その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

⑧災害時の出勤にルールを定めていますか？（例、自宅から施設までの距離を把握しており、近い職員から行くようにする、等）

　　　ア)決めている

　　　　　具体的な取り決めを教えて下さい。

　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　イ)決めていない

⑨近年記憶に残る大震災の前後で、災害時の検査室の対応に変化はありましたか。

　　 ア)あった

　　　　具体的な内容を教えて下さい。

　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　イ)ない

　　⑩災害対応や防災のために検査室で何か行っていますか。（複数回答可）

　　　ア) 非常電源や無停電装置などを設置し、停電に備えている

　 　イ)断水にも対応できるように、水を用いない検査機器を導入している

　 　ウ)バッテリーで動く生理検査機器（心電計、エコーなど）を用意している

　 　エ)検査機器や棚など、倒れ易い物の転倒防止措置を行なっている

　 　オ)検査室がある建物が免震構造なので、特に転倒防止は行なっていない

　　　カ)薬や物品などの備蓄を行なっている

　　　キ）BCP※1を作成した

　　　ク)停電や計画停電に備えたマニュアルがある

　　　ケ)検査室のみでも防災訓練を行っている

　　　コ)災害時にも使えるような検査室の緊急連絡網がある

　　　サ)近隣の病院検査室と災害時の協力体制を結んでいる

　　　シ)特に何もしていない

　　　ス)どうしたら良いのか分らない

　　　セ)その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※1　BCPとはBusiness Continuity Plan（事業継続計画）の略で、災害や事故など不測の事態を想定して、事業継続の視点から対応策をまとめたもの。危機発生の際、重要業務への影響を最小限に抑え、仮に中断しても可及的速やかに復旧・再開できるように、あらかじめ策定しておく行動計画のこと。

5）災害で被害を受けたことがありますか。

　①はい　　　②いいえ

以下6）から12）の設問は5）の設問で「①はい」と回答された施設のみお答えください。

6）検査室内の被災状況を教えてください。（複数選択可）

①検査室関連での患者（採血室や生理検査室など）の安否に被害あり

　 ②検査室スタッフの安否に被害あり

③部署内建物に被害あり

④医療機器・機械の動作状況に被害あり

⑤医療ガスの作動状況に被害あり

⑥ライフラインの状況に被害あり（電気・ガス・水道）

⑦検査室スタッフの出勤状況に被害あり

　⑧その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

7）被災時に行えなくなった検査はありますか。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

8）被災時に要望のあった検査はありますか。

　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

9）被災後の運営方法を変更しましたか。

①はい　②いいえ

10）9）の設問で「①はい」と回答された施設のみお答えください。

どのように運営方法を変更しましたか。

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

11）9）の設問で「②いいえ」と回答された施設のみお答えください。

　今後の災害に向けて取り組んでいることがありましたらお答えください。

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

12）被災経験を振り返り、どのような対策が重要と思われましたか。（複数回答可）

　　①　非常電源や無停電装置などを設置し、停電に備える

　　②　断水にも対応できるように、水を用いない検査機器を導入する

　　③　バッテリーで動く生理検査機器（心電計、エコーなど）を用意する

　　④　検査機器や棚など、倒れ易い物の転倒防止措置を行なう

　　⑤　試薬や物品などの備蓄

　　⑥　BCPの作成

　　⑦　停電や計画停電に備えたマニュアル作成

　　⑧　検査室のみの防災訓練

　　⑨　災害時にも使えるような検査室の緊急連絡網作成

　　⑩　近隣の病院検査室との災害時協力体制構築

　　⑪　特にはない

　　⑫　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

お忙しい中、アンケートにご回答いただきましてありがとうございました。

※アンケートの回答内容について、後日詳細な確認の連絡をさせていただく場合がございます。差し支えなければ連絡先のお名前、電話番号またはメールアドレスをお書き下さい。

ご施設名：

お名前　：

ご連絡先：